

兵庫県保険医協会尼崎支部 第89回医療と福祉を考える会

身体にかかる圧の影響と対策

「医療と福祉を考える会」は医療、看護、介護に関わる方々に職種を超えてお集まりいただき、ざっくばらんに話しあい、学習する場として開催しています。お気軽にご参加ください。

(担当・わたや整形外科 綿谷 茂樹)

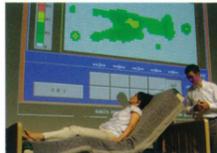
身体にかかる圧の影響と対策

(時間:約60分)

体圧分散式寝具 体位変換 背抜き・圧抜き

※測定や実演を交えながら解説します。

- 圧が体に及ぼす影響[基本]
- マットレス別/体位別の[圧測定]
- 体圧分散式マットレスの確実な選定方法
- 体位変換技術ワンポイント[実演・圧測定]
- 背抜き・圧抜きとは
- ポジショニング症例



日時 2月13日(木) 18時~20時

会場 合志病院 会議室(尼崎市長洲西通1丁目8-20)
※JR「尼崎」駅南出口から南へ徒歩7分

講師 (株)モルテン 林 拓郎 氏

参加費 無料

お問い合わせは 協会事務局 長澤・荒川・石本・山下 TEL078-393-1817 まで

【お申し込み】 FAX:078-393-1802

第89回医療と福祉を考える会(2/13)

参加者ご氏名	職種

医療機関・事業所名()
代表者名() TEL()

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

351号

2014年1月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

—新年のご挨拶—

社会保障の充実めざそう

尼崎支部長 八木 秀満

謹賀新年

新年にあたり、一言、ご挨拶申し上げます

昨年末は、買わなければあたらぬ宝くじで、暫しの夢を見ましたが、今年も夢に終わることが多いのでしょうか。

今年は、診療報酬点数改定の年です。担当者にとって、2月から4月は「改定のポイント」や「Q&A」の編集作業などで忙しくなります。消費税増税のため、基本診療料が増点になるようですが、プラス改定も実質マイナスとなるようです。

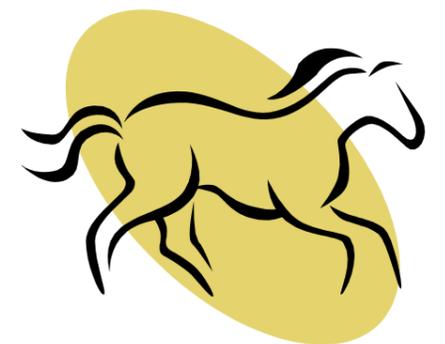
「他院退院後1ヶ月は、特定疾患療養管理料を算定できない」というような不合理な制度を改正して欲しいという夢をみえています。「改定のポイント」を愛読している厚労省の担当役人さんをお願いしても無駄かしら!?

前期高齢者のうち70歳以上の窓口負担1割が1年先延ばしになるようですが、やはり運動の成果と見てよいでしょうね。

東京都知事選の争点を「原発ゼロ」にすることになって、「自公政権」に揺さぶりがかかることが正夢になることを願って、今年も、社会保障の充実をめざして、活動していきましょう。



今年もよろしく お願い致します



幹事一同

尼崎社保協

尼崎市との意見交換会を実施

尼崎社保協(会長八木秀満支部長)では、社保協として提出した「社会保障施策についての要望書」に基づき、12月27日に尼崎市との意見交換会を行い、加盟団体から7人が参加した。

「要望書」では、国民健康保険、後期高齢者医療、生活保護問題、障害者施策、子ども子育て支援、県立尼崎・塚口病院についてなど9項目にわたって回答を求めているが、今回は介護保険と高齢者施策に絞って懇談を行った。内容について一部紹介する。

まず、非課税者・低所得者の保険料の引き下げについては、「平成24年の改定時に介護給付費準備基金、兵庫県介護保険財政安定化基金の交付金で引き下げを行った。これは次回改定まで3年間利用される」とのこと。市独自の減免は考えていないとの回答だが、国庫負担割合の引き上げを国に求めるよう要望した。

制度の見直しで、予防給付のうち訪問介護や通所介護のサービスを市が主体となる地域支援事業に移行が検討されている点について、「基盤整備は厳しくなるだろうが、サービスによってプロが必要なものかどうか精査し、今後ケアマネや事業所への調査を行っていく」とした。一時的に要支援になった人が介護保険のパワーリハビリを利用し回復した例も示し、「要支援を介護からはずして大丈夫なのか。人件費の削減だけでは社会全体のマイナスになる」と訴えた。市担当者からは「高齢化への対応とともに、現在の受給者も守らなくてはならない。制度を破綻させてはならない」との回答に止まった。

また、高齢者移送サービスの「タクシー券」の交付について、在宅だけでなく特養など施設入所者への利用も要望。施設入所者は在宅に比べそれなりの給付や支援をしているという考えから、「タクシー券」配布対象になっていない。しかし、施設職員が利用者全員の要望を聞いて送迎するなどの対応は困難との一定の理解は得られた。

その他、毎年要望している介護認定者の「障害者控除」については、市民や介護支援事業者への広報、介護認定時に正しいアドバイスで自動的に送付すべきと要望した。

今後は、その他の「要望書」の項目について回答を求め、必要に応じて意見交換会を申し入れる。



1時間にわたって懇談した

診療報酬改定研究会のご案内

日時 3月28日(金) 14時~16時

会場 尼崎商工会議所701会議室

※詳細は後日あらためてご案内いたします。

アスベスト裁判(労災型)

原告本人尋問で切々と訴え 引き続き裁判支援にご協力を

クボタ旧神崎工場で下請け労働者として出入りし、石綿が原因で死亡した二人の遺族、藤原、山本両原告のアスベスト訴訟(労災型)の裁判が12月4日、神戸地裁で開かれた。

同日は、原告本人尋問が行われ、2人の原告が証言した。

原告の藤原ノリエさんは、亡くなった夫の信行さんが、作業時に通常のガーゼマスクしかしていなかったこと、作業着は灰色の埃のようなもので汚れていたこと、また、初孫を見ることもなく亡くなってしまった無念や、病気になってからの闘病生活や家族の看病の苦悩を証言した。

原告の山本美智子さんは、丈夫だった夫の隆彦さんが、最初に不調を訴えてからわずか4ヶ月でこの世を去ったこと、夫が「死にたくない。おれ今死なれへんねん」と話し、かける言葉もなかったこと、看病にあたった家族も大きな苦しみを受けたことを証言した。

60名を超える支援者が傍聴、裁判後の報告集会に参加した。

裁判は3月26日に結審し、その後判決となる。

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451

< 2月のテーマ >

- 月曜日 うちの子、風邪にかかりやすいのは何故?
- 火曜日 歯科の応急処置
- 水曜日 知っておきたい不整脈の話
- 木曜日 鼻づまりから起こる病気
- 金土日 子どもの顔のあざ

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。

<http://www.hhk.jp/>

第480回幹事会だより

12月20日(金) 於 阪急塚口「竹葉」 参加: 4人

- 尼崎支部の会員数と組織率
12/19 現在 医科 378人、歯科 143人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
当面の支部活動、地域医療、医療情勢などについて意見交換した。
- 次回の幹事会
2月下旬に開催予定。どなたでもご参加いただけます。詳細は事務局まで。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 長澤まで